

2017

4

April

No.289

広報みしま

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

Mishima Town Public Relations

三島中学校卒業式

9年間の義務教育を終え

自分の足で踏出す未来へ



主な内容

第36回三島町生活工芸品展	12	図書のご案内	12
第16回全国編み組工芸品展	2	健康で元気な毎日!	12
平成29年度町の予算	4	町史編さん室だより	13
若者単身用住宅完成	6	「山菜・たけのこ」の	
祝卒業	7	採取・出荷等について	14
町の話	8	情報配信	15
町民記者通信	9	カタクリさくらまつり	18
地域おこし協力隊活動報告	11	町長日記	18

三島町生活工芸品展

第36回

三島町の工芸品の原点である「生活工芸」。雪国の暮らしの中で作られ、使われてきた工芸品が集結。

大賞に輝く 渡部 佐治郎 さん (西方)



▲三島町生活工芸品展授賞式の様子



▲大賞に選ばれた渡部佐治郎さんのマタタビ四つ目箆

第36回三島町生活工芸品展は3月18日・19日に開催されました。町民76人、419点の作品の中から、渡部佐治郎さん(西方)のマタタビ四つ目箆が大賞に選ばれました。

また、同時に第16回全国編み組工芸品展が開催され、126人から寄せられた819点の作品の中から、角田清義さん(浅岐)のマタタビ四つ目ザルが林野庁長官賞に選ばれました。両工芸品展の審査委員長を務めた、当町の生活工芸運動アドバイザーで名誉町民の宮崎清さんが講評を寄せ「受賞候補作品は、自然材料の特質が生かされ、しつかりと丁寧につくられた、何れも生活の中で使いたくなるような編み組品ばかりでした。」と受賞者をたたえました。

会場には、受賞作品を一目見ようと町内外から約3千人のお客様が訪れました。目で見て、手で触れて、丁寧に作られた作品に見入っていました。

全国編み組工芸品展

第16回

全国で作られた編み組工芸品が三島町へ。

林野庁長官賞 角田 清義 さん (浅岐)



▲奥会津三島編み組振興協議会五十嵐会長より賞状を受ける角田さん



▲林野庁長官賞に選ばれた角田清義さんのマタタビ四つ目ザル

三島町生活工芸品展

受賞者 (敬称略)

▼大賞 渡部佐治郎 (西方) 四つ目箆 (マタタビ)
▼伝統技術者証 舟木トメ子 (間方) 円座 (ヒロロ)
秦サチ子 (大石田) 手提げバッグ (ヒロロ・モワダ)
二瓶謙 (大谷) 抱えバッグ (山ブドウ) ▼優秀賞 二瓶アキノ (大谷) ショールダーバッグ (アカソ)、小松ユミ子 (西方) マット (古布)、橋本公和 (宮下) 手提げかご (山ブドウ) ▼奨励賞 齋藤聡 (大谷) 木ザル (ヤマウルシ)、五十嵐タメ子 (浅岐) バッグ (ヒロロ・モワダ)、酒井亜紀 (高清水) カッティングボード (ブナ) ▼三島町議会議長賞 矢澤民子 (高清水) ショルダーバッグ (ヒロロ) ▼日本赤十字社県支部長賞 馬場修子 (松原) テーブルクロス (裂き織) ▼県老人クラブ連合会長賞 五十嵐文吾 (大登) ソバ箆 (マタタビ) ▼町文化協会会長賞 鈴木みち子 (松原) かざり (山ブドウ) ▼町商工会

長賞 渡部和 (大石田) 古布クッション (古布) ▼町観光協会会長賞 酒井ハナヨ (宮下) 財布 (山ブドウ) ▼町社会福祉協議会長賞 二瓶トヨ子 (西方) ストラップ (山ブドウ) ▼町老人クラブ連合会長賞 角田清義 (浅岐) 米研ぎ箆 (マタタビ) ▼福島民報社賞 会津桐タンス (桐) 折りたたみイス (桐) ▼福島民友新聞社賞 栗城ゆみ子 (宮下) かざり (あけび) ▼榎マルシェみしま賞 小堀千加子 (西方) 手提げバッグ (裂き織) ▼町生活工芸運動友の会賞 五十嵐登美雄 (早戸) 手提げかご (山ブドウ)、清水夏穂 (宮下) 米研ぎ箆 (マタタビ)、手提げかご (ヒロロ) 川島子ヨエ (大石田) 手提げかご (山ブドウ・アカソ) ▼宮崎清賞 秦愛子 (大石田) ショルダーバッグ (ヒロロ・アカソ)、秦栄吾 (大石田) 財布 (山ブドウ)、角田米子 (浅岐) 手提げバッグ (ヒロロ)、二瓶キシイ (名人) スカリバッグ (ヒロロ)、角田ツヤ子 (浅岐) 手提げ



バッグ (ヒロロ・モワダ)、目黒良介 (滝谷) ソバ箆 (マタタビ)、二瓶一男 (西方) 米研ぎ箆 (マタタビ)、久保田節子 (間方) ショールダーバッグ (モワダ)、羽賀孝子 (滝谷) 手提げかご (山ブドウ)

全国編み組工芸品展

受賞者 (敬称略)

▼経済産業大臣賞 松井忠 (長野県) 一斗箕 (根曲竹) 藤桜の皮 ▼林野庁長官賞 角田清義 (浅岐) 四つ目ザル (マタタビ) ▼東北経済産業局長賞 上平敬 (岩手県) 背負かご (真竹) ▼福島県知事賞 大山達朗 (福島県) 手提げバッグ (ヒロロ・モワダ) ▼一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞 畑田真弓 (愛知県) 網代手付き籠 (竹) ▼三島町長賞 北門伸子 (長野県) 手提げかご (トウヒ) (御柱祭おんべ) ▼三島町議会議長賞 小堀千加子 (西方) 手提げバッグ (山ブドウ) ▼福島民報社賞 新井博 (群馬県) トートバッグ (ヒロロ・モワダ) ▼福島民友新聞社賞 渡部博之 (福島県) 三本網代模様編み平ザル (マタタビ) ▼NHK福島放送局賞 渡邊孝作 (栃木県) 菱掛編花籠 (真竹) ▼福島テレビ賞 三星智善 (福島県) 楕円椀カゴ (根曲竹) ▼福島中央テレビ賞 青木基重 (西方) 蓑 (ヒロロ) ▼福島放送賞 角田弘芳 (福



島県) ツメかんじき (なたツカ) ▼テレビユー福島賞 二瓶ケイ子 (福島県) 長財布 (山ブドウ) ▼奥会津三島編み組振興協議会賞 板橋泰二郎 (滝原) 手提げかご (山ブドウ)、佐藤茂治 (福島県) 水切りカゴ (根曲竹) ▼奨励賞 板橋サガミ (滝原) 手提げバッグ (ヒロロ・モワダ)、矢内文字 (福島県) ケース (山ブドウ)、片桐利永 (福島県) ホウキ (ほうき草)、桐山茂夫 (福島県) 手提げバッグ (ヒロロ・モワダ)

町の予算

※ここに掲載した事業は、平成29年度当初予算に計上した重点事業又は主な事業です。

Pickup1 推進体制整備

行財政改革・推進体制整備

- 魅力ある返礼品制度の確立によるふるさと納税の推進。
- 滞納整理事業。

Pickup2 若者定住対策

雇用の場を創出

- 観光資源の魅力度向上による誘客推進及びJＲ只見線の利活用を含むインバウンド対策の強化。
 - 観光客の満足度向上のための観光施設等の機能強化と計画的な整備の推進。
 - 新たな町単独補助制度による農業者支援と、認定農業者の育成及び新規就農の促進。
 - 桐の栽培と商品開発及び販路開拓を同時に推進。
- ### 住宅環境整備
- 空き家の利活用による若者移住・定住の推進。
 - 特定空き家の解消に向けた取組みの強化。
 - 第2期整備としての若者単身用住宅整備。
 - 長寿命化計画に基づく中平団地の改修事業。

Pickup3 学び場と人づくり

- 小・中学校の「完全給食」に向けた建設負担金や給食搬入口改修工事、運搬車の購入等の環境整備。
- 地域の人材(教員OB)やサポートティーチャーが授業や課外学習のサポートにより、キャリア教育の充実。
- 「桐の里ウォーク」のさらなる充実により、町民の健康促進。

Pickup4 美しい地区づくり

地区活動支援、地域資源の発掘・活用

- 生活工芸村構想推進のための環境整備。
- 生活工芸アカデミーの安定運営に向けた取組みの強化。
- 地区担当職員との協働による地区づくりの推進。
- 美しい村づくり町民運動の推進。

安全安心な基盤づくり

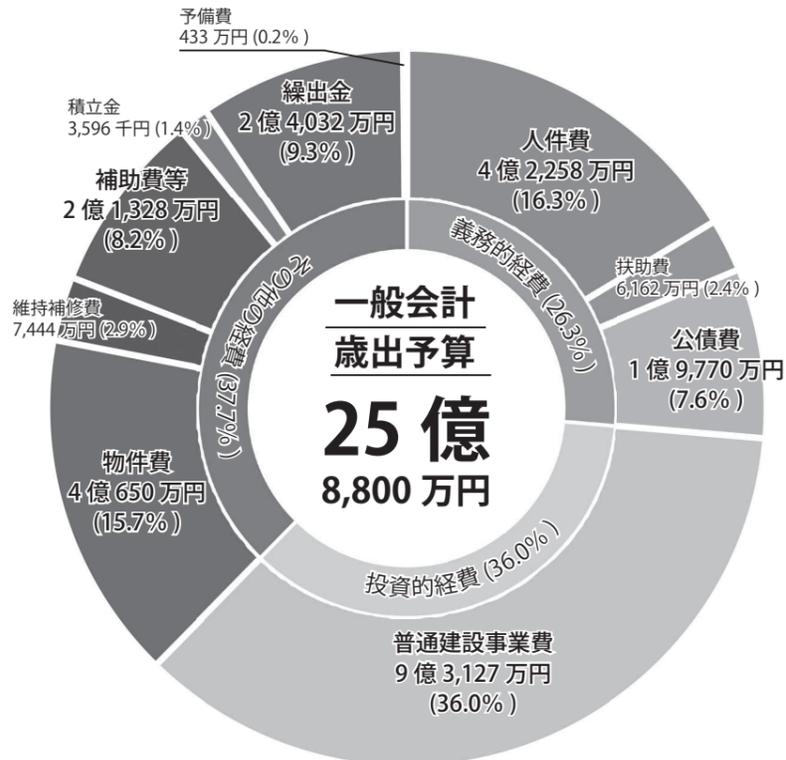
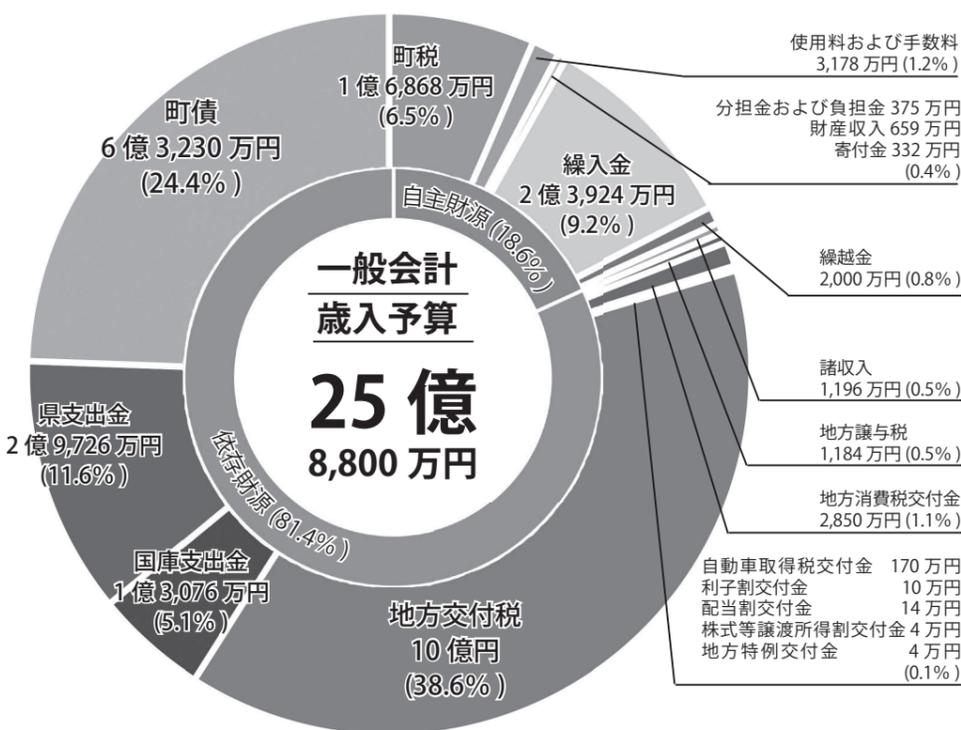
保健福祉の充実

- 健康づくりの普及啓発、環境整備。
- 各種健診の充実。
- 保健指導の充実。
- 母子保健事業。
- 支援組織体制の再構築。
- 介護予防の充実。
- 生きがいづくりと社会参加。
- 高齢者福祉施設等の維持管理。
- 介護保険利用者負担額の軽減措置。
- 障がい者福祉の充実。
- 医療の充実。

社会生活基盤

- 路線バス事業の充実。
- 消防施設整備と消防機能の強化。
- 交通安全対策事業・交通安全施設整備事業。
- 個人番号カード取得率を上げるための広報活動。
- 塵芥処理業務(滝原最終処分場の廃止)。
- 町道整備と国・県への要望活動。
- 上下水道整備の推進(簡易水道事業・農業集落排水事業・戸別合併処理浄化槽事業)。

平成29年度は、第四次三島町振興計画「後期基本計画」の2年目となります。基本構想に掲げた4つの柱に基づき、振興計画のテーマである「住みたい、住み続けたいふるさと」の実現に向け、各職員や各組織の横の連携はもとより、町民と町が一体となった協働の町づくりを進めます。



主な投資的事業

集会施設耐震改修設計(川井・桧原)
荒屋敷集会所耐震改修改築
名入集会所耐震改修改築
高清水集会所耐震改修改築
路線バス車輛購入(1台)
サーバー更改業務
ふくしま森林再生事業(森林整備)
早戸交流拠点施設湯治棟改修
川井居平宮ノ上線外法面調査
寺沢四ツ田線外消雪工事
中平団地住宅改修・若者単身用住宅整備
消防積載車購入(滝谷班)
防災行政無線デジタル化改修設計積算業務
防災備蓄倉庫(2台)
学校給食センター整備(負担金・備品購入・搬入口改修)

用語の説明

- 一般会計と特別会計
町の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は基本的な経費の会計、特別会計は特定の事業を行うために区分した会計です。
- 町税
町民の皆さんに納めていただく税金です。町民税、固定資産税、軽自動車税などがあります。
- 町債
町の借金で、公共施設の建設など、一時的に多額の費用を必要とする場合の財源に充てられます。
- 地方交付税
町の財政力に応じて、国から交付されるお金です。財政力の不均衡をなくし、一定のサービスができるよう、国税(所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税)として国に納められた税金のうち、一定割合の額を地方自治体に配分するものです。
- 国庫支出金・県支出金
町が行う特定の事業に対して、国や県から交付されるお金です。
- 人件費
報酬や給与などです。
- 物件費
賃金、旅費、消耗品費、燃料費などの消費的な経費です。
- 維持補修費
道路や公共施設などを管理するための経費です。
- 扶助費
高齢者、児童、心身障がい者などを支援する経費です。
- 補助費等
町から他の団体などに対して、特定の目的で支払う補助金などです。
- 普通建設事業費
道路や住宅、公共施設などの整備のための経費です。
- 公債費
町の借金を償還(返還)するための経費です。
- 積立金
財政運営のために積み立てるお金です。
- 繰出金
一般会計から特別会計に出しているお金です。

平成29年度 会計別予算額

会計種別	予算額	前年度からの増減
一般会計	25億8,800万円	+3億5,247万円
特別会計		
国民健康保険	2億8,885万円	+847万円
簡易水道	2億2,530万円	+2,259万円
路線バス	2,833万円	△57万円
農業集落排水	2,740万円	+282万円
介護保険	4億6,887万円	+1,033万円
戸別合併処理浄化槽	3,956万円	△439万円
後期高齢者医療	3,172万円	+407万円
合計	36億9,803万円	+3億9,579万円

三島中学校卒業式

たくさんの思い出を胸に11人が旅立ち

三島中卒業式は3月13日に行われ、11人が門出を迎えました。佐藤校長は「自分の生き方の指針になるものを少しずつ増やし、力強く生きて行って欲しい」と話しました。続いて坂内教育長が告辞を述べ、「三島の地で学び得た、知力、体力と誇りを存分に発揮して、着実に自分の道を切り開き、世の中で役立つ自立した、心身共に健全な社会人になってほしい」と話しました。

卒業生は一人一言、家族や地域の方々への感謝を述べ、保護者一人ひとりのスピーチでは涙を誘い感動に包まれました。「蛍の光」「仰げば尊し」、卒業讃歌「旅立ちの日に」を歌い、新たなスタートを祝いました。



三島小学校卒業式

夢を持ち新たなステージへ12人卒業

三島小卒業式は3月23日に行われ、12人が卒業しました。卒業証書が手渡され、一人ひとりが将来の夢について発表しました。

卒業証書は、総合的な学習の時間を利用し、12人それぞれが町の特産の桐の板を貼り合わせ、思い思いに絵を描いて制作した筒に納められました。

三星校長が式辞を述べ、「自分で考え判断し、行動することは価値があることです。中学校でもどんなことに対してもチャレンジしてください。」と話しました。

また、1年生から5年生までの在校生30人がそれぞれ修了しました。

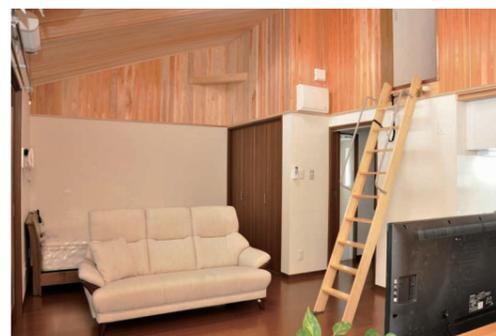


三島保育所満了式

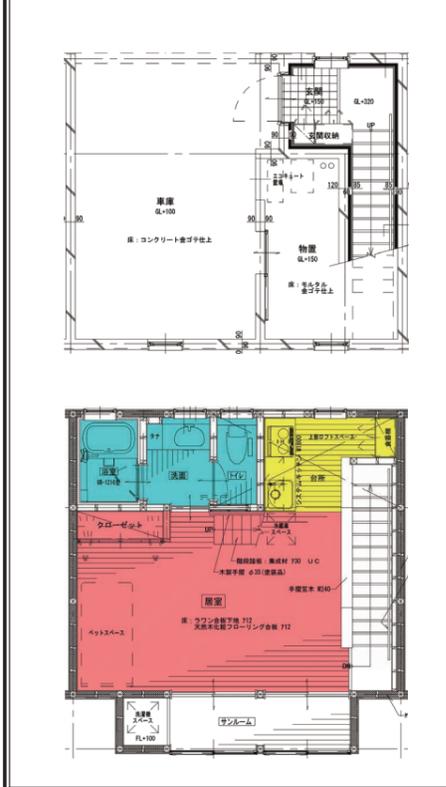
4人が大きく成長し新1年生へ

三島保育所の満了式は3月25日に行われ、年長児4人が楽しかった保育所生活を終わりました。五十嵐所長から満了証書を受け取ると、後ろで待つお母さん、お父さんに満了証書を手渡しました。五十嵐所長は、「4人の元気あふれるパワーを小学校でも発揮して下さい。」と話し、勇気が出る種のプレゼントを渡しました。

児童たちは「思い出のアルバム」などを歌い、終了後には三島保育所生活の思い出がたくさん詰まったDVDを鑑賞し、保育所とお別れしました。



【A棟(国道側)間取図】
※B棟(只見川側)は若干異なります。



三島町若者単身用住宅中乙田団地(7戸)が3月に完成しました。3月15日には、内覧会が行われ、多くの方々が新しく完成した住宅を訪れ、住宅の様子を見てまわりました。

この住宅は、町営住宅の整備や小規模宅地の造成により、若者向けの居住環境を整備し、移住・定住に結び付けることを目的に建設されたもので、1階RC・

2階木造建ての全室オール電化。電気自動車も充電できる設備になっており、町外から単身の18歳から45歳の入居者が三島町で新たな生活を始めます。

また、国立環境研究所福島支部が寒冷中山間地域にある家庭のエネルギー消費をモニターリングし蓄積したデータを基に効率の良いエネルギーの使い方などを研究するため、この

住宅に電力使用量が一目で分かるシステムを導入し、町との共同研究を行います。

この研究は、1時間ごとの電力使用量を計測する機器で、家庭内で使う電力の総量をはじめ、エアコンなど個別の使用量を示すグラフをタブレット端末で確認でき、入居者には電力使用状況の診断や省エネのための助言を行います。

三島町若者定住対策 若者単身用住宅 中乙田団地完成

「田舎暮らし体験ツアー」行われる

文・写真 菅家壽一さん(間方)

2月25日、26日に間方地区において、観光協会主催の田舎暮らし体験ツアーが開催され、県内外からの12名の方々が参加しました。初日は、間方のあんにゃ達の優しく丁寧な指導のもと、「マイかんじき」を作りました。参加者の皆さんは、楽しみながらも真剣な眼差しで取り組んでいました。



夕方からは、間方に伝わる手回し機によるそば打ちを体験しながら、交流会の準備をしました。交流会では、そばのほか、間方の姉達の山菜料理等を楽しんでいただきました。

宿に帰る途中の「美女帰街道」には、サプライズとしてロウソクを灯し、車を降りて暫し楽しんでいただきました。感動して涙を流してくださる方もおられました。

2日目は、入間方に移動し、前日に作った「マイかんじき」を履いて雪山を歩きました。冬らしい天候にも恵まれ、雪山の景色に感動され、楽しい散策をしていただきました。

三坂の山から

文・写真 菅家壽一さん(間方)

3月4日、あまりにも天気がいいので、町のシンボル三坂山に行ってきました。反射板のあるあの山を見ていると行きたくありませんか？



今回は、ネイチャースキー(歩くスキー)で行ってみました。(地元及び所有者の皆さん、無断で山に入りましたことお許しください。)

美坂高原から公社造林を過ぎ、ブナとミズナラの美しい林の中を歩きました。ミズナラは、カシノナガキクイムシにやられたのでしょうか、立ち枯れて全滅状態でした。

1時間30分ほどで頂上です。遠くには、磐梯山、明神ヶ岳、博士山、志津倉山。沼沢湖の先には浅草岳、御神楽岳が真っ白で美しい。眼下には、宮下・桑原・大登・名入の集落が美しく広がります。この遠くからの景色は、昔とちっとも変わっていません。しかし、高齢化と人口減少、田んぼと里山の荒廃等々は、着実に進んでいます。皆で力を出し合い、景色も心も美しい、持続可能な街に行きたいものです。

高清水地区の伝承文化「ひな流し」

文・写真 菅家敏一さん(高清水)

3月4日、桃の節句に女の子の健やかな成長を願って、紙で作られた各家庭のひな人形を集めて流す、恒例の「ひな流し」が行われました。



地区の方々と三島小学校児童のみなさんが、木箱に入れられたひな人形を流しました。緩やかに岸を離れていくひな人形に各々が心を込めて祈っていました。

この行事が行われると春も近しの感じがします。

ご寄附 ありがとうございました

滝谷建設工業㈱が 町に寄附

滝谷建設工業㈱は、2月11日に開催された第45回雪と火のまつりの出店売上金を町に寄附されました。板橋康宏営業部副部長らが役場を訪れ、矢澤町長に目録を手渡しました。



▲矢澤町長に目録を手渡す滝谷建設工業㈱の板橋営業部副部長と総務部の若林さん

宮下地区建設業協同 組合が町に寄附

宮下地区建設業協同組合は、2月11日に開催された第45回雪と火のまつりの出店売上金を町に寄附されました。代表理事を務める佐久間建設工業㈱の佐久間源一郎代表取締役と滝谷建設工業㈱の目黒通浩代表取締役が3月13日、役場を訪れ、矢澤町長に目録を手渡しました。



▲矢澤町長に目録を手渡す佐久間建設工業㈱の佐久間代表取締役と、滝谷建設工業㈱の目黒代表取締役

伝統行事に触れる 桐の子隊「ひな人形」作り

2月23日、桐の子隊で高清水地区で行われる伝統行事雛流しで使用される「ひな人形」作りが行われました。子ども達は、綺麗に彩られた千代紙で上手に作りあげました。



総務省消防庁消防団協力事業所表示証を交付 佐久間建設工業株式会社・滝谷建設工業株式会社

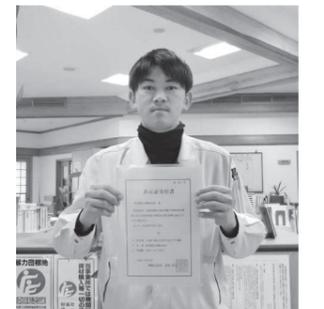
平成29年3月、総務省消防庁より佐久間建設工業㈱へ総務省消防庁消防団協力事業所表示証が交付されました。

この表示証は、消防団活動に積極的に協力している消防団協力事業所のうち、特に顕著な功績が認められる事業所に対して交付するとともに、地域の消防防災力の充実強化等、一層の推進を図ることを目的としています。

当町では、今回交付された佐久間建設工業㈱と滝谷建設工業㈱の2社が、消防団協力事業所として認定されています。



▲二瓶消防団長より佐久間建設工業㈱の佐久間代表取締役に表示証が手渡される。



▲表示証を手にする滝谷建設工業㈱総務部の若林さん

地域における相互協力に係る協定締結式 会津若松郵便局・宮下郵便局・西方郵便局

3月21日、会津若松郵便局・宮下郵便局・西方郵便局と高齢者見守りなどに関する協定を締結しました。

この協定は、各郵便局職員が郵便配達の際に高齢者や子どもの見守りを行うほか、道路損傷や不法投棄など発見した際に迅速に役場に通報するものです。



▲左から：藤田義則西方郵便局長、長谷川勝宮下郵便局長、永木重博会津若松郵便局第一集配営業部長、矢澤町長、秦副町長



団子まき「みんな元気で」と願いこめて

文・写真 本名与四郎さん(西方)

3月20日の春分の日、西方地区にある西隆寺本堂において、春恒例の「団子まき」が行われました。団子まきが始まる前に遠藤弘佳住職が団子まきの由来について分かりやすく説明しました。

本堂には、地元の子も達やお年寄りを中心に、近郷近在の多くの方が約100人以上参集し、熱気に溢れました。

団子まきは、遠藤住職や護持会の役員が集まった信徒や住民に5色の団子のほかに鈴のお守りやアメをまいて、無病息災、交通安全などを祈願しました。



地区総会に向けての監査行われる

文・写真 本名与四郎さん(西方)

3月12日に西方ふるさとセンターにおいて、地区総会に向けての「監査会」が行われました。

監査員として、小松順太郎さんと坂内洋二さんによる西方地区一般会計および特別会計報告書の収支決算が正しく執行されているのか、一つひとつの項目についてチェックを受けました。

西方地区一般会計及び特別会計報告とも適正に会計が行われていることが認められ、その後、1年間の労をねぎらう食事会が催されました。



▲地域おこし協力隊報告会の様子。町内外から多くの方にご参加いただきました。

先日、3月15日に三島町地域おこし協力隊活動報告会を行わせていただきました。想定していたよりもずっとたくさんの方に参加いただき、協力隊の活動について関心を持ってもらえる方が多くいらっしゃることや、報告会にご参加いただいた皆さまに少しでも、協力隊の考えや活動といったものが伝わったのではないかと幸いです。

地域おこし協力隊活動報告 Vol.1

情報発信担当 常盤 達彦(二年目)

先日は、3月15日に三島町地域おこし協力隊活動報告会を行わせていただきました。想定していたよりもずっとたくさんの方に参加いただき、協力隊の活動について関心を持ってもらえる方が多くいらっしゃることや、報告会にご参加いただいた皆さまに少しでも、協力隊の考えや活動といったものが伝わったのではないかと幸いです。



春彼岸行事行われる～宮昌寺～

文・写真 小島純さん(宮下)

3月15日、宮昌寺において、上法事・春彼岸先祖供養・涅槃会(団子まき)が行われました。

午前9時から上法事、午前10時から春彼岸先祖供養が宮昌寺護持会会員多数の参加のもと、厳かに執り行われました。

先祖供養終了後、「団子まき」が行われ、三島保育所の子ども達や地区住民が、遠藤弘佳住職や寺護持会の方々がまいた団子を熱心に拾い集めていました。



宮下地区総会行われる

文・写真 小島純さん(宮下)

3月19日、宮下地区活性化センターにおいて、平成28年度宮下地区総会が地区住民約30名参加のもと行われました。

広瀬充是区長のあいさつの後、平成28年度経過報告や決算、その他、上程された議題が審議され、無事了承されました。

また、新年度の区長に目黒政寿氏が承認されました。その後、新旧区長があいさつし、目黒新区長から広瀬前区長に感謝状が手渡され、1年間の労をねぎらいました。総会終了後、懇親会に移り、新年度の地区の飛躍を和やかに話し合いました。



消防署からのお知らせ

春になり、空気の乾燥する季節となりました。三島町では、4月5日(金)から4月11日(木)までの間、春季火災予防運動を実施します。風の強い日が続くことから、タバコの不始末などの、ちょっとしたことにより悲惨な火災が各地で多く発生します。以下の事をよく守り、安全に暮らせる町づくりにご協力をお願いします。

4つの注意点

- ① 野焼きは法律で禁止されているため行わない。
- ② マッチ、タバコ等に火をつけ、後は確実に消火する。
- ③ 火気の近くに燃えやすいものを置かない。
- ④ ガソリン等の引火しやすいものの近くで火気を使わない。

火事・救急・救助は119番まで
会津坂下消防署三島出張所
電話 52-3032
FAX 52-3033

浅岐から入山沢を上流に向かい、フタマタから左（東側、岩淵山を巻くように）に行くと、ヒガシ沢（入ってすぐ右手の斜面はカヤ刈り場）、ナカノ沢があり、ナカノ（中）の沢にはトラゼムカマ、そのナカノ沢の行き当たりがジンベイといひます。フタマタから左、大清水に抜ける沢はニシノ沢、上流で左にムラシゲ（村菅）沢、右が大清水、そして大清水の二ノタイラ（二の平）で、大清水のオッタテとなります。

柳津町琵琶首集落の西手にあるオソノ沢（新潟県朝日連峰の奥三面ではオソとはクマを捕るワナを仕掛ける場所を指します）、この沢の鞍部が峠で、浅岐に通じる道になり、浅岐分のタロスケの沢につながっています。

浅岐字若林の角田清義さん（昭和十六年生）のお話では、中学を終えた昭和三十一年頃から五年間ほど、五、六人で炭焼きをしました。場所は、入山沢の源流のムラシゲ沢のおつとまり（尾根手前）

あたりだそうです。清義さんは村の人に付いて炭焼きを教わりました。炭焼き小屋を建て、そこに生えていたコガヤ（カリヤス）で屋根を葺いたといひます。ちなみに昭和村のからむし畑において焼くのはコガヤであり、コガヤ草地の維持に苦心していました。

炭焼き小屋に寝泊まりしての作業で、朝は琵琶首集落のニワトリの鳴き声が聞こえ、夜には琵琶首の家の灯りも見えたそうです。時に沢を夜に歩いて琵琶首まで行って風呂に入ったともいひます。琵琶首側の沢（入道沢の左の沢か、杉山沢と思われま）す、浅岐から入山沢のフタマタまでは木材運搬の自動車が行き通れる道路があり、道が良いので歩いて四十分、さらにそこからムラシゲ沢までは、歩道でかなり時間がかかり、琵琶首の山中を歩いて行った方が近かったそうです。

炭焼きは昭和村野尻の佐藤平喜さん（昭和二年生、下中津川在住）が奥会津の製炭指導員で浅岐地区にも時々来ていました。できた木炭は、ヤマモ（齋藤商店）さん、ブンヤさん（菅家商店）、そして柳津の中野（滝谷駅前）のお店などが購入し、鉄道の貨車で出荷しました。



文 三島町史編さん専門委員 菅家 博昭

現在、炭焼きは廃れてしまいましたが、炭は貴重な燃料として需要も多く、中山間地である三島町の生業の一つとして重要な位置を占めていました。

山と生きる 炭焼きの記憶 (浅岐地区)

町史編さん室だより 第15回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまで一報ください。
☎(52) 2165

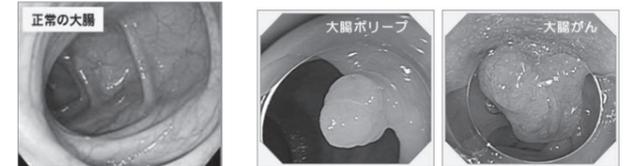
vol. 3 **健康で元気な毎日!**
町民課保健福祉係 ☎48-5565



大腸がんを発見、予防しよう！ 大腸がん健診

平成 28 年度の三島町の大腸がん検診の状況です。

	受診者	精密検査対象者	精密検査受診者	未受診	精密検査結果		
					異常なし	大腸がん	その他の疾患
大腸がん検診	283 人	25 人	22 人	3 人	7 人	0 人	腺腫性ポリープ (10 人) 憩室 (2 人)



大腸がんの方はいませんでしたが、腺腫性ポリープの方が 10 名いました。大腸ポリープの 80% が腺腫性ポリープとされています。腺腫性ポリープは現在良性であっても、放置した場合がんに変わる可能性がありますので、早めに切除された方が良いでしょう。大腸ポリープは、大腸がんになりやすい体質であるかどうかの指標ともなりますので、発見された場合は切除し、食生活等を変えるなど予防に努めましょう。

職場などで大腸がん検診を受診する機会のない方は、ぜひ町の総合検診で大腸がん検診を受診して下さい。また、検診を受けて精密検査対象になったら必ず検査をうけましょう！

総合検診で行う大腸がん検査～便潜血反応検査～

便に潜む血液の有無を調べます。2 日間分の便の一部を容器に入れて提出するだけの簡単な検査です！



大腸がんやポリープなどがある場合、大腸の中を便が病巣を擦るように通過するため、患部から若干の出血があります。検査では、そのわずかな出血の有無を検知します。

図書のご案内

町民センターゆめぽけっと

下記の雑誌を毎月購読しています。
ひよこクラブ・たまごクラブ・山と溪谷・オレンジページ・壮快・Number

- 利用時間
①～④ 午前9時～午後9時
⑤・祝日 午前9時～午後5時
- お休み
年末年始

問 公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ

『はらぺこ あおむし』

著者：エリック・カール

物語としては、卵→幼虫→さなぎ→蝶になるというお話です。単なる知識の本ではなく、充実した画面が続き生命の美しさをうたいあげています。

さて、あおむしが食べたところは、いったいどうなっているでしょうか？



●図書の紹介 (今回は、お子様向けの本をたくさんそろえました。)

題名	著者
からすのパンやさん	かこ さとし
アンデルセンどうわ 全 15 話	西本 鶏介
世界の昔ばなし 全 20 話	西本 鶏介
はやく あいたいな	五味 太郎
のでので	五味 太郎

県立宮下病院より

◆診療日記

花粉症について



県立宮下病院医員
山元 勝悟

冬が終わりに近づき、少しずつ春の日差しも増えてきました。それは同時に花粉症の季節の到来でもあります。生活の質を著しく下げ花粉症。それだけではなくアレルギー性鼻炎は、喘息やCOPD（慢性閉塞性肺疾患）などの慢性呼吸疾患を悪化させるとも言われています。花粉症は症状が出る前から薬を飲むよりも、症状が出る前から薬を飲んだ方が効果があると言われてます。早めの内服を開始して、気持ちのいい春を過ごしましょう。

福島県立宮下病院

☎0241(52)2321

～在宅療養生活支援コーナーのお知らせ～

宮下病院では、新年度から毎週木曜日に無料で「在宅療養生活支援コーナー」を開設します。
 ①病気や障がいを抱えながら家で生活する方や家族の「介護」や「生活」についての相談窓口
 ②地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援
 ③地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供
 などを目的に、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフが皆様の自宅で安心して生活するためのお手伝いをさせていただきます。

4月の在宅療養生活支援コーナーのスケジュール

月日	時間	内容	場所
4/13⑥	午後2時～3時	・開設式 ・院長講話 ・愛称採用者への記念品贈呈	会議室
4/20⑥	午前9時～12時 午後1時～4時	・相談コーナー (健康、介護、医療など何でもご相談ください) ・健康教室 (感染管理認定看護師※による「家庭でできる感染防止対策」) (午前11時30分～12時)	外来待合室
4/27⑥	午前9時～12時 午後1時～4時	・相談コーナー (健康、介護、医療など何でもご相談ください) ・健康教室 (看護師による「認知症」に関する講座) (午前11時30分～12時)	外来待合室

※感染管理認定看護師とは、感染管理について専門的知識と熟練看護技術を習得した看護師です。現在、宮下病院では1名の感染管理認定看護師が勤務しています。

相談コーナーでは、例えば・・・
 「健康のことを考えたいけど、何をすれば良いのか分からない」
 「介護のコツを知りたい!」
 「話し相手が欲しい」など、健康、介護、医療に関することについてご相談をお受けします。

費用は無料です!お気軽にお越しください!
職員一同、心よりお待ちしております!

福島県立宮下病院 ☎0241(52)2321

『山菜・たけのこ』
の採取・出荷等について



山菜・たけのこのシーズンを迎えました。福島県におきましては、山菜・たけのこ15品目の放射性物質のモニタリング検査を行っており、その結果、食品中の基準値を超える放射性セシウムが含まれる山菜・たけのこが確認されたため、複数の市町村及び品目において、出荷が制限されています。出荷制限等の状況につきましては、下記もしくは福島県ホームページなどでご確認ください。

山菜の販売には県の放射能検査を受ける必要があります

野生の山菜について、県の放射能検査（モニタリング検査）を行っていない品目は販売することができません。また、野菜についても県の放射能検査を受けないと販売できない品目もありますので、山菜・野菜の販売を希望する方は、役場産業建設課または放射能検査室までお問合せ下さい。

農林水産物の放射能検査については、町のホームページに詳しく掲載していますので、ご覧ください。
 ※放射能検査室（みしま宿2階）で実施している検査は、消費者の安全のための検査であり、あくまで自主検査という扱いとなりますのでご注意ください。

◆福島県ホームページのアドレス
<http://www.new-fukushima.jp/>

ふくしま新発売

検索

【山菜・たけのこに関するお問合せ先】
 福島県会津農林事務所 森林林業部林業課
 Tel 0241-24-5734 Fax 0241-24-5748
 三島町役場 産業建設課産業係 Tel 0241-48-5566

◆会津地方における林産物の出荷制限等の状況

H29.3.1 現在

市町村名	わらび(野生)	たらのめ(野生)	くさそてつ(こごみ)(野生)	こしあぶら	ねまがりたけ	きのこ(野生)
会津若松市				×(H25.6.3)		×(H25.10.1)
喜多方市	×(H24.5.17)			×(H24.5.7)		×(H23.10.18)
北塩原村				×(H25.5.7)		×(H24.10.18)
西会津町				×(H28.4.28)		×(H26.8.25)
磐梯町				×(H24.5.10)		×(H24.10.11)
猪苗代町		×(H26.5.14)		×(H24.5.17)	×(H26.6.10)	×(H23.9.15)
会津坂下町				×(H25.5.28)		×(H24.10.18)
湯川村						
柳津町				×(H25.5.7)		×(H26.10.2)
三島町				×(H25.5.20)		×(H26.9.22)
金山町				×(H25.6.5)		
昭和村				×(H25.6.10)		×(H24.8.15)
会津美里町			×(H26.4.24)	×(H24.5.7)		×(H25.11.12)
下郷町				×(H24.5.10)		×(H25.9.26)
檜枝岐村						
只見町				×(H28.5.6)		×(H25.10.2)
南会津町				×(H25.5.16)		

※×は出荷制限が指示されている品目。()内は指示等の日。 ※出荷制限は、指示が解除されるまで続きます。

職業訓練生募集・施設見学会

- 【募集コース名】
電気設備技術コース
- 【募集期間】
平成29年4月11日～平成29年5月10日
- 【募集定員】
10名
- 【訓練期間】
平成29年6月1日～平成29年11月30日まで（6カ月間）
- 【対象者】
公共職業安定所に求職されている方で、就職に必要な知識・技能を身に着ける意欲のある方
- 【受講料】
無料（別途テキスト代がかかります）
- 【選考日】
平成29年5月17日（※午前9時～）
受講申込み者に対し、筆記試験及び面接を実施します。

※受講を希望される方は、最寄りのハローワークに受講申込書を提出してください。

- ◆施設見学会（職業訓練つて、なに？）
- 【開催日】
4月24日（月）、5月8日（月）、5月15日（月）
5月22日（月）、5月29日（月）、6月5日（月）
6月12日（月）、6月19日（月）、6月26日（月）
午後1時30分～午後3時30分
（午後1時受付開始）
- 【内容】
・いままでのキャリア（職業能力）にプラスして、新たな技能習得の

県政相談のお知らせ

県では、県政に関する相談や要望、または県民生活に関する相談をお受けします。相談は無料で秘密は厳守します。

1.相談場所	
福島県庁県政相談コーナー及び県の各合同庁舎県政相談コーナー	
2.相談時間	（月）～（金）（祝祭日、年末年始は休み） 9時～12時・13時～16時
3.県政相談専用電話等	
県庁（県政相談コーナー）	☎0120-899-721 または ☎024-521-7017 mail kenseisoudan@pref.fukushima.lg.jp
県合同庁舎内（県政相談コーナー）	
郡 山 県中地方振興局	☎0120-899-722
白 河 県南地方振興局	☎0120-899-723
会津若松 会津地方振興局	☎0120-899-724
南 会 津 南会津地方振興局	☎0120-899-725
南 相 馬 相双地方振興局	☎0120-899-726
い わ き いわき地方振興局	☎0120-899-727

お気軽にご相談ください。

問 福島県 県民広聴室
☎024-521-7013

ための職業訓練について理解していただく説明会で、当センターが実施しています。

・訓練内容についてより詳しく知りたい方は、最寄りのハローワークから参加お申込み下さい。

自動車税のしくみ

自動車税は、県民の皆様の福祉の増進、教育等に使われている大切な税金です。納期限までに忘れずに納付してください。

- 納期限：5月31日（※）
- 注意点：4月1日現在の所有者に課税されます。領収書に継続検査（車検）用の納税証明書がついていますので、大切に保管して下さい。
- 納付場所：最寄りの金融機関、コンビニエンスストア等で納付してください。また、インターネットよりお支払いサイトにアクセスして、クレジットカードでも納付できます。
- 自動車税の減免申請：身体障害者手帳、戦傷病者手帳、療育手帳を所持している方のために使用する自動車で、一定の要件に該当する場合は申請により自動車税が減免されます。
- 申請期限：5月31日（※）

問 福島県会津地方振興局県税部 課税第二課
☎0242-29-5261

交通事故相談のお知らせ

県では、交通事故による損害賠償請求や示談の仕方などについて相談をお受けします。相談は無料で秘密は厳守します。

- 1.相談場所
福島県庁県政相談コーナー（本庁舎2階）
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
☎024-521-4281
- 相談時間（月）～（金）（祝祭日、年末年始を除く）
9時～12時・13時～16時
- 2.巡回相談（事前に予約が必要です。）
・交通事故相談員が出向いて相談を受け付けます。
- ・相談を希望される方は、左記の日程及び会場をご確認の上、必ず事前に予約をとり、指定された時間においでください。
- ・予約は、原則として相談日の前日正午までです。（予約がない場合には、相談会を実施いたしませんので、ご注意ください。）
- ※予約受付先
福島県庁県政相談コーナー
☎024-521-4281

平成29年度 交通事故巡回相談日程

会場	会津若松合同庁舎
月	日
4月	11日（※）
5月	16日（※）
6月	13日（※）
7月	11日（※）
8月	8日（※）
9月	12日（※）
10月	12日（※）
11月	14日（※）
12月	5日（※）
1月	16日（※）
2月	15日（※）
3月	13日（※）

※日程が変更になる場合がありますので、事前にお確かめ願います。

問 福島県 県民広聴室
☎024-521-7013

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯（平成29年中）

1件

なりすまし詐欺にご注意！

▽融資偽造金目詐欺

会社に融資のファックスが届き、電話をかけて融資を申し込んだところ、手数料と保証金を要求され、ATMから約10回にわたり、指定された口座に現金の振り込み被害にあったものです。保証金や手数料を要求されたら詐欺です。

▽アダルトサイトの利用料金が未納

裁判になる。」などと脅して、現金をだまし取る手口です。
ATMからの振り込みのほか、レターパックや宅急便により現金を送付してしまつのが特徴です。コンビニなどでインターネットギフト券などを購入させ、だまし取る手口にもご注意ください。

社会福祉協議会より

町社会福祉協議会へのご寄附
（ご遺志によるもの）
馬場 一 浩 様（大登）
酒井 昇 一 様（西方）

社会福祉協議会 ☎（52）3344

町からお知らせ

たくさんのご寄附
ありがとうございます

町への寄附（ふるさと納税）
工藤 忠利 様（東京都用区）
宮沢 千恵 様（会津若松市）

総務課総務係 ☎（48）5511

4月分納税のご案内

【納期限 5月1日】

- ▼固定資産税（第1期）
- ▼軽自動車税（第1期）

忘れずに納付ください。

問 町民課町民係 ☎（48）5555

インターネット被害防止

運動実施中

- スマートフォンを利用して
- あ 会わないで！（知らない人と）撮らないで！（自分の裸を）
- か 画像を送らないで！
- こ 個人情報を書き込まないで！
- わ 悪口を書き込まないで！
- い いじめないで！（ネットを使って）

正しく使おう
インターネット



街頭犯罪発件数（平成29年2月28日）

区分	管内	三島町
空き巣ねらい		
忍び込み		
出店荒らし		
自動車盗		
自転車盗		
ひったくり	1	
街頭犯罪合計	1	0
全刑法犯	21	1

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。
※上記発生件数は、平成29年1月1日からの累計数となっています。

町の人口と世帯（3月現在）

人口	1,705				
男	834	増減数	-6	出生	1
女	871		-1	死亡	4
世帯	780		-5	転入	1
			-4	転出	4

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出があった人数です。

はじめまして赤ちゃん



今月はおりませんでした。

来月もお幸せに



今月はおりませんでした。

お悔み申し上げます



板橋 敬（38才・宮下）
馬場 千恵子（86才・大登）
酒井 昇（85才・西方）
小野塚 貞雄（86才・早戸）

※掲載を希望する方もされない方も、各種手続き時に配布いたします『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。

問 総務課総務係 ☎（48）5511

第4回 福島県三島町大林ふるさとの山

カタクリ

さくらまつり

平成29年4月21日(金)～4月25日(火)

4月中旬より約8ヘクタールに群生するカタクリが、少し遅れて数百本のオオヤマザクラが開花します。年によっては紫色の絨毯と薄紅色の天井の中を散策できます。祭り期間中は地元住民による手作りの飲食物の販売を行います(9時～15時)。

三島町へのアクセス



お車の場合	東京	東北自動車道	郡山JCT	磐越自動車道	会津坂下IC	国道252号	三島町
		150分		45分		20分	
●カーナビに「大林ふるさとの山」を入力、又は三島町内の国道252号から大林ふるさとの山まで案内看板が設置してありますので、その案内に従いお越しください。							
列車の場合	東京	東北新幹線	郡山駅	JR磐越西線	会津若松駅	JR只見線	会津宮下駅
		85分		65分		90分	
●会津宮下駅⇨会場間で、只見線列車の発着(下り9:11着、上り9:12着、上り13:02発、下り14:35発)に合わせ無料送迎バスを運行【22・23日(土・日)のみ】します。							

※花の見頃は祭りの日程と異なる場合があります。4月上旬より三島町観光協会ホームページにて開花状況をお知らせします。
主催/三島町・西方地区・西方共有財産管理会 共催/西方カタクリの会・三島町観光協会 お問合せ/三島町観光協会Tel.0241-48-5000

町長日記

～温故知新の思想～

No. 21

昭和56年3月に策定した「第一次三島町振興計画」から平成28年3月に策定した「第四次三島町振興計画」の35年間の振興策の課題は、如何に「過疎化」現象をくい止めるダムを構築するかということであり、事業選択で苦悩した文面を垣間見る事ができます。

特に、本町の町づくりの基本は、簡単に表現すると様々な人との交流を通して、自分の生き方を見つめながらも他人の考え方を理解する努力の過程でありました。多くの方が来町された折り「中山間地域にあって、三島町の風は違いますね。どうしてですか。」という質問があります。私は、「只見川の電源開発による人の移入と40年に及ぶ地域づくりの影響が町民の間に浸透しているからではないでしょうか。」と答えます。それらの風により「進取の気風」が養われて来たのだと確信しています。

町を愛する多くの先人の苦勞と英知に支えられながら、培ってきた固有の文化と歴史風土を守り育てながら、次の世代に引き継いでいくのが我々の役割であると考えます。

会津の歴史的風土は、「農と林」の国であり、本町も同様であります。特に条件不利地域である中山間地域の農林業の振興は、35年に及び振興計画の大きな課題の一つであり、その課題は今も変わらずに継続しています。

時代背景が変わる中、その課題には挑戦して来ましたが、一向に改善されていないのが現状であります。どこに困難さがあるのでしょうか？

地方創生の中で、農林業が一番伸び代があると言われております。農林業の振興策の方向性を過去35年間の振興計画の農林業振興策を分析しながら、今後の農林業振興策を考えてまいります。

三島町長 矢澤 源成

■発行 三島町 ■編集 三島町役場 総務課
〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下350 ☎0241(48)5511
■ホームページ http://www.town.mishima.fukushima.jp
■印刷 北日本印刷株式会社